

4月度議員懇談会・議員交流会

女性が働きやすい社会づくりと、子育て支援策について懇談



4月度議員懇談会を4月26日16時よりコートヤード・バイ・マリOTT福井にて開催し、62名が参加した。

開会にあたり八木会頭から挨拶が行われた。北陸新幹線県内開業から約1か月が経過し、関東圏を中心に来県者が大幅に増加していることに触れ、「これを一過性のものにするのではなく、いかに持続させていくか、経済界にかかる期待が大きくなっている。」と述べた。そこで、まずはこの賑わいを肌で実感するために、今回の議員懇談会を普段と会場を変えて、新規オープンしたコートヤード・バイ・マリOTT福井で開催したという経緯を説明した。



開会の挨拶を述べる八木会頭

また、林副会頭より、4月25日に福井市議会の、北陸新幹線開業効果最大

化対策特別委員会に参考人として招致され、アリーナ建設に向けた経済界としての思いや計画内容などの説明を行った旨が報告された。

続いて卓話に移り、福井県副知事の鷲頭美央氏より「女性が働きやすい社会づくりと、子育て支援策」と題して講演が行われた。

冒頭で鷲頭氏は、経済・仕事面での男女間格差について触れ、女性管理職登用の少なさなどから、年代が上がるにつれて男女の賃金格差が広がっている現状を示した。一方で、女性の活躍推進に向けて積極的に取り組む企業を登録する「ふくい女性活躍推進企業」は年々増加しており、小規模事業所を含め、県内企業での女性リーダーの育成は着実に進んでいるとした。その上で、福井県としては今後も補助制度の拡充や研修・相談制度の継続、表彰制度の創設などに取り組み、旗振り役に留まらず、実際に必要とされる支援を展開していきたいと述べた。

また、家庭面においては、男性は仕事、女性は家庭という考え方は若い世代を中心に変化してきているが、家や子育てにおける女性の負担は依然として大きく、女性のゆとり時間は少ないという課題に触れた。

これらの課題に対し、夫婦、家族間で家事を楽しく共有する「共家事（トモカジ）」の普及に向けて、企業や団体が行うイベントへの支援や、「ふくい育県」として、男女ともに仕事と子育てを両立しやすい体制を推進していくとし、経営者にもこうした取り組みへの理解と協力を呼び掛けた。



卓話を行った鷲頭美央福井県副知事

議員懇談会の終了後には、同ビル1階にある「ULO（ウロ）」に移動し、議員交流会を開催。議員間で新たな福井の賑わいの一端を実感した。

【議員異動】（敬称略）

北陸電気工事(株)福井支店

(旧) 専田 武志 (執行役員福井支店長)

(新) 宮本 泰成 (執行役員福井支店長)